

シラバス

授業科目	悪性腫瘍と薬物治療		
(英文名)	Pharmacotherapy for malignant tumor		
担当教員	田村 豊、江藤精二		
単位数(期別)	△1(前)	対象学生	4P

■授業のねらい・概要■

本講義は、悪性新生物に対する薬物の作用機序を理解し、薬物治療へ応用できるようになるために、抗悪性腫瘍薬の適正使用、および、化学療法に伴う副作用対策に関する基本的な知識を修得することを目的とする。【C12(1)、C14(4)、(5)】

■授業(学習)の到達目標■

悪性腫瘍の病態、および代表的な高悪性腫瘍薬の作用機序を説明できるようになることおよび、代表的ながん化学療法(副作用対策を含む)について説明できるようになることを目的とする。

■回数ごとの授業内容■

- 1 悪性腫瘍の病態生理、症状、治療について概説できる。(田村)
- 2 代表的なアルキル化薬、代謝拮抗薬を列挙し、作用機序を説明できる。(田村)
- 3 代表的な抗腫瘍抗生物質、植物アルカロイドを列挙し、作用機序を説明できる。(田村)
- 4 代表的なホルモン関連薬、白金錯体を列挙し、作用機序を説明できる。(田村)
- 5 代表的ながん化学療法を説明できる。(江藤)
- 6 主要な抗悪性腫瘍薬の主な副作用を列挙し、その症状を説明できる。(江藤)
- 7 化学療法における副作用軽減のための対処法を説明できる。(江藤)

■成績評価の方法・基準■

臨時試験並びに定期試験の成績によって評価する。

■使用テキスト■

なし

■参 考 書■

なし

オフィス・アワー (授業内容等の質問・相談日)	随時
----------------------------	----